◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.340　（2022年度No.18）**　 　2022/5/13

食の行政情報ならびに食中毒情報をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆



**ガチ　掛け値なしの真剣勝負**

**嫁さんの発案らしい**

**60万円くらいかかったのだとか**

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係)**事業経過等** | **2** |
| **2**[**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **2-5** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **5-6** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **6-14** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **14-18** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **18-29** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

5月06日　　かわら版339号・かわら版ニュース＆トピックス233号を発行。

5月06日　　総会資料・議決権行使書送付。

5月10日　　かわら版ニュース＆トピックス234号を発行。

5月11日　　第２回常任理事会・運営委員会。

5月13日　　かわら版340号・かわら版ニュース＆トピックス235号を発行。

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**★***Link***2022年3月31日　国立国際医療研究センター　COVIREGI-JPダッシュボード**

COVID-19 レジストリ研究　“ダッシュボード” 本データの注意点  
<https://www.ncgm.go.jp/pressrelease/2021/20220331.html>  
ダッシュボード  
<https://app.powerbi.com/view?r=eyJrIjoiNGJlMmZmNDctMDk0NC00MjkwLTk0NDgtYmM1MGFkYjNhN2RiIiwidCI6IjZmOGFmOWFkLTU2NDctNGQ2My1hYjIxLWRiODk0NTM3MzJmNyJ9>  
NCGM COVID-19 治療フローチャート（中等症以上成人)  
<https://www.ncgm.go.jp/covid19/pdf/20220322NCGM_COVID-19_Flow_chart_v5.pdf>

**■***NEW***小児の原因不明の急性肝炎について（令和4年5月6日）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25548.html>

　　世界保健機関（WHO）の報告によると、５月６日現在、12カ国で少なくとも169例（死亡１名）の小児における原因不明の急性肝炎が継続して報告されています。うち、74例でアデノウイルスが検出されていますが、原因ウイルス等については不明であるとされています。また、小児における急性肝炎が実際に増加しているのかについても、不明であるとしています。WHOでは、この急性肝炎の原因特定を目的として、暫定的な症例定義を定め、各国に症例定義に該当するケースの報告を求めています。

　　厚生労働省ではこうした事案について、令和４年４月20日に自治体等に対し、注意喚起及び情報提供依頼、4月27日に当該事例の感染症サーベランス及び積極的疫学調査についての事務連絡を発出しているところです。

暫定症例定義（※）の２「可能性例」に該当する2021年10月１日から2022年５月５日18時までの累積報告症例数を以下の通り公表します。今後も、定期的に症例報告の状況をとりまとめて公表していきます。

　　厚生労働省としては、引き続き、各国政府やＷＨＯ、専門家等とも連携しつつ、諸外国の感染状況を注視しながら、情報収集に努めてまいります。

　　報道機関各位におかれましては、ご本人やご家族などが特定されないよう、個人情報保護にご配慮下さい。

※ 暫定症例定義は以下のとおりとする。「欧州及び米国における小児の原因不明の急性肝炎の発生について（協力依頼）」（令和４年４月27日付厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡）

2021年10月1日以降に診断された原因不明の肝炎を呈する入院例のうち、以下の１、２、３のいずれかを満たすもの：

１確定例 現時点ではなし。

２可能性例 アスパラギン酸トランスアミナーゼ(AST)又はアラニントランスアミナーゼ(ALT)が500 IU/Lを超える急性肝炎を呈した16歳以下の小児のうちA型～E型肝炎ウイルスの関与が否定されている者。

３疫学的関連例 ２の濃厚接触者である任意の年齢の急性肝炎を呈する者のうち、A型～E型肝炎ウイルスの関与が否定されている者。

小児の原因不明の急性肝炎について（令和4年5月6日報道発表）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000936031.pdf>

関連情報

その他の感染症（13　欧州及び米国における小児の原因不明の重篤な急性肝炎について）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou19/index.html>

**■小児の原因不明の急性肝炎について（令和4年4月28日）**<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25509.html>

　　世界保健機関（WHO）の報告によると、４月21日現在、12カ国で少なくとも169例（死亡１名）の小児における原因不明の急性肝炎が継続して報告されています。うち、74例でアデノウイルスが検出されていますが、原因ウイルス等については不明であるとされています。また、小児における急性肝炎が実際に増加しているのかについても、不明であるとしています。WHOでは、この急性肝炎の原因特定を目的として、暫定的な症例定義を定め、各国に症例定義に該当するケースの報告を求めています。

　厚生労働省ではこうした事案について、令和４年４月20日に自治体等に対し、注意喚起及び情報提供依頼、4月27日に当該事例の感染症サーベランス及び積極的疫学調査についての事務連絡を発出しているところです。

　暫定症例定義（※）の2「可能性例」に該当する2021年10月１日から2022年４月28日12時までの累積報告症例数を別添の通り公表します。今後も、定期的に症例報告の状況をとりまとめて公表していきます。

　厚生労働省としては、引き続き、各国政府やＷＨＯ、専門家等とも連携しつつ、諸外国の感染状況を注視しながら、情報収集に努めてまいります。

報道機関各位におかれましては、ご本人やご家族などが特定されないよう、個人情報保護にご配慮下さい。

※ 暫定症例定義は以下のとおりとする。「欧州及び米国における小児の原因不明の急性肝炎の発生について（協力依頼）」（令和４年４月27日付厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡）

2021年10月1日以降に診断された原因不明の肝炎を呈する入院例のうち、以下の1、2、3のいずれかを満たすもの：

1確定例 現時点ではなし。

2可能性例 アスパラギン酸トランスアミナーゼ(AST)又はアラニントランスアミナーゼ(ALT)が500 IU/Lを超える急性肝炎を呈した16歳以下の小児のうちA型～E型肝炎ウイルスの関与が否定されている者。

3疫学的関連例 2の濃厚接触者である任意の年齢の急性肝炎を呈する者のうち、A型～E型肝炎ウイルスの関与が否定されている者。

小児の原因不明の急性肝炎について（令和4年4月28日報道発表）

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/000935327.pdf>

関連情報

その他の感染症（13　欧州及び米国における小児の原因不明の重篤な急性肝炎について）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou19/index.html>

**■疾病・障害認定審査会 (感染症・予防接種審査分科会新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害審査部会)　審議結果　2022/4/28**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25392.html>

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１２８７報）　2022/5/11**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25497.html>

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１２８６報）　2022/5/6**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25463.html>

　２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果

　　 ※ 基準値超過　１件

　　　　No.34　　福島県　　イノシシ　　（Cs ： 250 Bq / kg )　 桑折町

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.10/ 2022（2022.05.1）　2022/5/11**

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202210m.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202210m.pdf%20)

**目次**

**【世界保健機関（WHO）】**

1. 2022 年世界食品安全デー：安全で栄養のある食品がヒトの健康維持に果たす役割に注目

**【米国食品医薬品局（US FDA）】**

1. 米国食品医薬品局（US FDA）が乳幼児用調製粉乳に関連して発生しているクロノバクター（Cronobacter sakazakii）感染に関する苦情を調査（2022 年 4 月 29 日付更新情報）

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. ベビーホウレンソウに関連して複数州にわたり発生した大腸菌 O157:H7 感染アウトブレイク（2022 年 1 月 6 日付最終更新）

**【Morbidity and Mortality Weekly Report（CDC MMWR）】**

1. クルーズ船で発生した急性胃腸炎に関する報告（船舶疾患データベース・報告システム、米国、2006～2019 年）

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【英国保健安全保障局（UK HSA）】**

1. 英国保健安全保障局（UK HSA）が菓子製品に関連して発生しているサルモネラ感染患者に関する更新情報を発表（2022 年 5 月 6 日、4 月 29 日付更新情報）

**【英国食品基準庁（UK FSA）】**

1. 英国食品基準庁（UK FSA）長官が学校における食品基準向上のためのパイロットプログラム案を歓迎

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.10/ 2022（2022.05.11）　2022/5/11**

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202209c.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202209c.pdf%20)

**＜注目記事＞**

**【【FDA】 FDA は食品中の有害元素への暴露をさらに低減するためにジュース中の鉛を**

**制限する**

米国食品医薬品局（FDA）は、子供における食品中の有害元素（鉛、ヒ素、カドミウム、水銀）への暴露を減らすための科学に基づいたアプローチ「よりゼロに近づける（Closer to Zero）」行動計画の一環として、果物ジュース中の鉛に関するアクションレベルを示す事業者向けガイダンス案を発表した。このガイダンス案へのコメントを 60 日間受け付けており、その後、最終化された場合には、ジュース HACCP ガイダンスに記された現行基準の 50 ppb に取って代わる。FDA は、事業者が現行適正製造基準（CGMP）の範囲内で鉛を最小限にするための措置を講じれば達成可能な値であると考えている。

**＜鉛のアクションレベル案＞**

・濃縮していない（そのまま飲める）リンゴジュース：10 ppb

・その他の濃縮していないジュース及びブレンドジュース（リンゴジュースを混合したものも含む）：20 ppb

＊ポイント： FDA のよりゼロに近づける行動計画に関連した最初の具体的なリスク管理の提案です。対象の 4 つの有害元素のうち鉛にはすでに暫定参照値（interim reference levels: IRLs）が設定されていたため、他の有害元素よりも先に、子供による消費量の多い製品を対象にしたアクションレベルが提案されました。今後、他の有害元素についても段階的にアクションレベルの設定に向けた取組が行われる予定です。また、今回 FDA が提案しているアクションレベルは国際規格である Codex の最大基準値よりも低い値が採用されていますが、米国内で流通する国産・輸入品のデータに基づき設定したためと説明しています。

**【FDA】 FDA は CBD 及びデルタ 8 THC 製品を違法に販売している企業に対して警告**

**文書を発行する**

FDA は、連邦食品・医薬品・化粧品法（FD&C 法）に違反するとして、デルタ-8 テトラヒドロカンナビノール（デルタ-8 THC）を含むと表示した製品を販売した 5 社に警告文書を発行した。今回の措置は、FDA がデルタ-8 THC を含む製品に対して警告文書を発した初めての事例である。デルタ-8 THC は向精神作用と中毒作用を持ち、消費者にとって危険である可能性がある。デルタ-8-THC を高濃度に含む製品は、キャンディ、クッキー、朝食用シリアル、チョコレート、グミ、ベイプカートリッジ（カート）、チンキ、煎じた飲料など、それ以外にも様々な形態で販売されている。

＊ポイント： 米国では 2020 年末頃からデルタ-8 THC 製品による有害事象の報告が増加しており問題になっていました。子供が興味を持つような包装の製品もあることから子供の被害も多数報告されています。デルタ-8 THC は大麻植物に天然に含まれる成分ですが、量が少ないことからカンナビジオール（CBD）から人工的に製造されるのが一般的です。そのため FDA は、デルタ-8 THC そのものによる作用だけでなく、その製造方法、使用される化学物質や副生成物が不明なことから、それらによる健康への有害性についても懸念しているようです

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全委員会（第858回）の開催について　2022/5/12**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和4年5月17日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３．議事

　（１）肥料・飼料等専門調査会における審議結果について

　　　・「ジクロキサシリン」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（２）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見について

　　　・添加物「25-ヒドロキシコレカルシフェロール」に係る食品健康影響評価について

　　　・農薬「ピリダリル」に係る食品健康影響評価について

　　　・農薬「ホスチアゼート」に係る食品健康影響評価について

　　　・食品衛生法第１３条第３項の規定に基づき、人の健康を損なうおそれのないことが明らかであるものとして厚生労働大臣が定める物質（対

　　　　象外物質）「クエン酸」に係る食品健康影響評価について

（３）その他

４．動画視聴について：本会合の様子の動画視聴を希望される方は、5月16日（月）12時までに内閣府共通意見等登録システム（<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1176.html>にて、氏名、所属、電話番号及びメールアドレスを御登録いただきますようお願いいたします。視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに、視聴に必要なURLを、5月17日（火）12時までに御連絡いたします。なお、当日の資料につきましては、同日14時までに食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>）に掲載いたします。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

　<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■加熱と調理「ハンバーグ編」　2022/4/27**

<https://www.youtube.com/watch?v=57RKgz22RNs>

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和4年3月26日から令和4年4月15日）2022/4/28**

[https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from\_year=2022&from\_month=3&from\_day=26&to=struct&to\_year=2022&to\_month=4&to\_day=15&max=100](https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2022&from_month=3&from_day=26&to=struct&to_year=2022&to_month=4&to_day=15&max=100%20)

**４．****[農水省関係](C:\\Users\\shokkakyo\\AppData\\Roaming\\Microsoft\\Word\\農水省関係)**<https://www.maff.go.jp/>

**★***Link***ウクライナ情勢に関する農林水産業・食品関連産業事業者向け相談窓口**

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/sodan.html>

**■***NEW***米国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/5/11**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220511_1.html>

**農林水産省は、4月25日（月曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）ペンシルバニア州からの、5月11日（水曜日）にワシントン州、ミズーリ州及びユタ州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。**

**1.経緯**

**米国ペンシルバニア州、ワシントン州及びミズーリ州の家きん飼養施設において高病原性鳥インフルエンザの発生が、ユタ州の家きん飼養施設において低病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。**

**2.対応**

**米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年4月25日（月曜日）にペンシルバニア州からの、令和4年5月11日（水曜日）にワシントン州、ミズーリ州及びユタ州からの家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。**

**（参考）生きた家きんについては、ペンシルバニア州は令和4年1月13日以降、ワシントン州は令和4年5月9日以降、ミズーリ州は令和4年3月7日以降、ユタ州は令和4年4月20日以降、一時輸入停止措置をしています。**

**【家きん肉、家きん卵等】**

**ペンシルバニア州全域（※2）**

**ワシントン州スポケーン郡並びにミズーリ州ジャスパー郡、ローレンス郡、ラルズ郡、ジェントリー郡及びデイド郡（発生郡）（※3）**

**ユタ州の発生場所から半径10km以内の区域**

これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■***NEW***香港向け家きん由来製品の輸出再開について（宮城県）　2022/5/12**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220512_6.html>

　本日より、宮城県からの香港向けの家きん由来製品の輸出が再開されましたのでお知らせします

概要

令和3年11月10日の秋田県における高病原性鳥インフルエンザ発生以降、輸出相手国・地域との間で地域主義の適用について協議を行い、主な輸出先である香港やシンガポール当局からは非発生県からの家きん由来製品の輸出継続が認められています。

これまで、高病原性鳥インフルエンザが発生した12県のうち、10県について香港当局から清浄性が認められ、輸出を再開してきたところ、今般、宮城県についても清浄性が認められ、当該県からの家きん由来製品の輸出再開について合意しました。

これにより、本日から、動物検疫所において香港向けの輸出に必要な輸出検疫証明書の交付を再開しました。

引き続き、他の輸出先国・地域との協議を行ってまいります。

なお、先に輸出再開した10県のうち、青森県及び秋田県については、再開後に高病原性鳥インフルエンザが発生したため、輸出は停止しております。

＜2021年1-12月の輸出額＞

香港向け鶏肉：9.8億円（鶏肉の総輸出額13.0億円）

香港向け鶏卵：57.3億円（鶏卵の総輸出額58.7億円）

出典：財務省「貿易統計」

＜これまでの経過＞

令和3年11月10日：日本全国からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和3年11月10日：秋田県以外で生産及び処理された家きん由来製品の香港向け輸出を再開

令和4年1月31日：秋田県、兵庫県、熊本県、埼玉県、広島県及び青森県で生産及び処理された家きん由来製品の香港向け輸出を再開

令和4年3月4日：鹿児島県及び愛媛県で生産及び処理された家きん由来製品の香港向け輸出を再開

令和4年3月18日：千葉県及び岩手県で生産及び処理された家きん由来製品の香港向け輸出を再開

令和4年3月25日：宮城県からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和4年4月8日：青森県からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和4年4月16日：北海道からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和4年3月19日：秋田県からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和4年5月12日：宮城県で生産及び処理された家きん由来製品の香港向け輸出を再開

参考

動物検疫所ホームページ　URL：<https://www.maff.go.jp/aqs/>

**■***NEW***北海道網走市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内21例目）に係る移動制限の解除について　2022/5/12**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220512.html>

　北海道は、網走市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内21例目）に関し発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和4年5月12日（木曜日）午前0時（5月11日（水曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）北海道は、網走市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内21例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限区域（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限区域（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）北海道は、網走市で確認された高病原性鳥インフルエンザに関し、令和4年5月9日（月曜日）18時に発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（3）今般、北海道は、国内21例目の移動制限区域について、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年4月20日の翌日から起算して21日が経過する令和4年5月12日（木曜日）午前0時（5月11日（水曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**3.参考**

**北海道における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内21例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220416_6.html>

**北海道で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内21例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220420_1.html>

**北海道網走市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内21例目）に係る搬出制限の解除について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220510.html>

**■***NEW***秋田県大仙市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内22例目）に係る移動制限の解除について　2022/5/12**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220512_4.html>

　　秋田県は、同県大仙市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内22例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和4年5月12日（木曜日）午前0時（5月11日（水曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）秋田県は、同県大仙市の養鶏場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内22例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限区域（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限区域（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）秋田県は、同県大仙市で確認された高病原性鳥インフルエンザに関し、令和4年5月1日（日曜日）0時（令和4年4月30日（土曜日）24時）に発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（3）今般、秋田県は、国内22例目の移動制限区域について、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年4月20日の翌日から起算して21日が経過する令和4年5月12日（木曜日）午前0時（5月11日（水曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***岩手県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内24例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2022/5/12**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220512_5.html>

　　本日（5月12日（木曜日））、岩手県一関市の家きん飼養施設において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内24例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定します。

1.農場の概要

所在地：岩手県一関市

飼養状況：10羽

2.経緯

（1）昨日（5月11日（水曜日））、岩手県は、同県一関市の家きん飼養施設から、だちょう（エミュー）の死亡がみられるとの通報を受けて、立入検査を実施し、当該だちょう（エミュー）について鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました

（2）本日（5月12日（木曜日））、当該だちょう（エミュー）について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***青森県横浜町で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内18及び19例目）に係る移動制限の解除について　2022/5/11**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220511.html>

　　青森県は、同県横浜町で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内18及び19例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和4年5月11日（水曜日）午前0時（5月10日（火曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）青森県は、同県横浜町の養鶏場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内18及び19例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限区域（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限区域（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）青森県は、同県横浜町で確認された高病原性鳥インフルエンザに関し、令和4年5月4日（水曜日）17時に発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（3）今般、青森県は、国内18及び19例目の移動制限区域について、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年4月19日の翌日から起算して21日が経過する令和4年5月11日（水曜日）午前0時（5月10日（火曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**3.参考**

**青森県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内18例目）及び「農林水産**

**省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220408_4.html>

**青森県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内18例目）の遺伝子解析及び**

**NA亜型の確定について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220412.html>

**青森県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内19例目）及び「農林水産**

**省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220415_3.html>

**青森県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内19例目）の遺伝子解析及び**

**NA亜型の確定について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220420_3.html>

**青森県横浜町で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内18及び19例目）に係る搬出制限の**

**解除について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220506_6.html>

**■***NEW***群馬県における豚熱の確認（国内81例目）及び「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」の持ち回り開催について　2022/5/10**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220510_5.html>

　　本日、群馬県桐生市の養豚農場において家畜伝染病である豚熱の患畜が確認されたことを受け農林水産省は本日、「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の防疫方針について決定します。

現場及び周辺地域にも本病のウイルスが存在する可能性があり、人や車両を介して本病のまん延を引き起こすおそれがあります。現場及び周辺地域での取材は、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。

1.農場の概要

所在地：群馬県桐生市

飼養状況：約5,500頭

2.経緯

（1）群馬県は、同県桐生市の農場から、死亡頭数が増加している旨の通報を受け、昨日（5月9日（月曜日））、当該農場に立ち入り、病性鑑定を実施しました。

（2）群馬県の検査により豚熱の疑いが生じたため、農研機構動物衛生研究部門（注）で精密検査を実施したところ、本日（5月10日（火曜日））、豚熱の患畜であることが判明しました

**■***NEW***ブルガリアからの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/5/10**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220510_4.html>

　　農林水産省は、5月10日（火曜日）にブルガリアのガブロヴォ州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

ブルガリアのガブロヴォ州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、ブルガリア家畜衛生当局から国際獣疫事務局（OIE）に通報がありました。

2.対応

ブルガリア家畜衛生当局からの通報を受け、同病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年5月10日（火曜日）にガブロヴォ州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、2国間で輸入条件が設定されていないため、従前より輸入できません。

これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■***NEW***米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/5/10**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220510_3.html>

　　農林水産省は、5月2日（月曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）ネブラスカ州からの、5月6日（金曜日）にオクラホマ州及びモンタナ州からの、5月9日（月曜日）にイリノイ州、オレゴン州及びワシントン州からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

米国ネブラスカ州、オクラホマ州、モンタナ州、イリノイ州、オレゴン州及びワシントン州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年5月2日（月曜日）にネブラスカ州からの、令和4年5月6日（金曜日）にオクラホマ州及びモンタナ州からの、令和4年5月9日（月曜日）にイリノイ州、オレゴン州及びワシントン州からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。

【生きた家きん（家きんの初生ひな及び種卵）】

オクラホマ州、オレゴン州及びワシントン州全域

（参考）生きた家きんについては、ネブラスカ州は令和4年3月18日以降、モンタナ州は令和4年4月11日以降、イリノイ州は令和4年3月14日以降、一時輸入停止措置をしています。

【家きん肉、家きん卵等（※2）】

ネブラスカ州ワシントン郡及びノックス郡、オクラホマ州セコイア郡、モンタナ州ポンデラ郡、ファーガス郡及びギャラティン郡、イリノイ州ケーン郡、オレゴン州リン郡並びにワシントン州パシフィック郡（発生郡）

**■***NEW***北海道網走市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内21例目）に係る搬出制限の解除について　2022/5/10**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220510.html>

　　北海道は、網走市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内21例目）に関し発生農場の半径3kmから10km以内の区域に設定している搬出制限について、令和4年5月9日（月曜日）18時に解除しました。

今後、北海道は、国内21例目の移動制限区域内で、当該疾病の新たな発生が認められなければ、令和4年5月12日（木曜日）午前0時（5月11日（水曜日）24時)をもって、当該移動制限を解除する見込みです。

1.今後の予定

（1）北海道は、網走市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内21例目）に関し、令和4年5月9日（月曜日）18時、発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（2）今後、北海道は、国内21例目の移動制限区域内で、当該疾病の新たな発生が認められなければ、発生農場の防疫措置が完了した令和4年4月20日の翌日から起算して21日が経過する、令和4年5月12日（木曜日）午前0時（5月11日（水曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除する見込みです。

**3.参考**

**北海道における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内21例目）及び「農林水産**

**省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220416_6.html>

**北海道で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内21例目）の遺伝子解析及び**

**NA亜型の確定について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220420_1.html>

**■***NEW***北海道釧路市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内23例目）に係る搬出制限の解除について　2022/5/9**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220509.html>

　北海道は、釧路市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内23例目）に関し発生農場の半径3kmから10km以内の区域に設定している搬出制限について、令和4年5月8日（日曜日）午前0時（5月7日（土曜日）24時）に解除しました。

今後、北海道は、国内23例目の移動制限区域内で、当該疾病の新たな発生が認められなければ、令和4年5月19日（木曜日）午前0時（5月18日（水曜日）24時)をもって、当該移動制限を解除する見込みです。

1.今後の予定

（1）北海道は、釧路市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内23例目）に関し、令和4年5月8日（日曜日）午前0時（5月7日（土曜日）24時）、発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（2）今後、北海道は、国内23例目の移動制限区域内で、当該疾病の新たな発生が認められなければ、発生農場の防疫措置が完了した令和4年4月27日の翌日から起算して21日が経過する、令和4年5月19日（木曜日）午前0時（5月18日（水曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除する見込みです。

**■***NEW***シンガポール向け家きん由来製品の輸出再開について（宮城県）　2022/5/6**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220506.html>

　本日より、宮城県からのシンガポール向けの家きん由来製品の輸出が再開されましたのでお知らせします。

概要

令和3年11月10日の秋田県における高病原性鳥インフルエンザ発生以降、輸出相手国・地域との間で地域主義の適用について協議を行い、主な輸出先である香港やシンガポール当局からは非発生県からの家きん由来製品の輸出継続が認められています。

これまで、高病原性鳥インフルエンザが発生した12県のうち、10県についてシンガポール当局から清浄性が認められ、輸出を再開してきたところ、今般、宮城県についても清浄性が認められ、当該県からの家きん由来製品の輸出再開について合意しました。

これにより、本日から、動物検疫所においてシンガポール向けの輸出に必要な輸出検疫証明書の交付を再開しました。

引き続き、他の輸出先国・地域との協議を行ってまいります。

なお、先に輸出再開した10県のうち、青森県及び秋田県については、再開後に高病原性鳥インフルエンザが発生したため、輸出は停止しております。

　＜これまでの経過＞

令和3年11月10日：日本全国からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和3年11月12日：秋田県以外で生産及び処理された家きん由来製品のシンガポール向け輸出を再開

令和4年1月26日：秋田県、兵庫県、熊本県、埼玉県、広島県及び青森県で生産及び処理された家きん由来製品のシンガポール向け輸出を再開

令和4年2月22日：鹿児島県及び愛媛県で生産及び処理された家きん由来製品のシンガポール向け輸出を再開

令和4年3月22日：千葉県及び岩手県で生産及び処理された家きん由来製品のシンガポール向け輸出を再開

令和4年3月25日：宮城県からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和4年4月8日：青森県からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和4年4月16日：北海道からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和4年3月19日：秋田県からの家きん由来製品の輸出を一時停止

令和4年5月6日：宮城県で生産及び処理された家きん由来製品のシンガポール向け輸出を再開

参考

動物検疫所ホームページ

[URL：https://www.maff.go.jp/aqs/](file:///C:\Users\shokkakyo\AppData\Roaming\Microsoft\Word\URL：https:\www.maff.go.jp\aqs\)

**■***NEW***青森県横浜町で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内18及び19例目）に係る搬出制限の解除について　2022/5/6**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220506_6.html>

　　青森県は、同県横浜町で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内18及び19例目）に関し、発生農場の半径3kmから10km以内の区域に設定している搬出制限について、令和4年5月4日（水曜日）17時に解除しました。

今後、青森県は、国内18及び19例目の移動制限区域内で、当該疾病の新たな発生が認められなければ、令和4年5月11日（水曜日）午前0時(5月10日（火曜日）24時)をもって、当該移動制限を解除する見込みです。

1.今後の予定

（1）青森県は、同県横浜町で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内18及び19例目）に関し、令和4年5月4日（水曜日）17時、発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（2）今後、青森県は、国内18及び19例目の移動制限区域内で、当該疾病の新たな発生が認められなければ、令和4年5月11日（水曜日）午前0時（5月10日（火曜日）24時)をもって、当該移動制限を解除する見込みです。

**■秋田県大仙市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内22例目）に係る搬出制限の解除について　2022/5/2**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220502_5.html>

　　秋田県は、同県大仙市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内22例目）に関し、発生農場の半径3kmから10km以内の区域に設定している搬出制限について、令和4年5月1日（日曜日）午前0時（4月30日（土曜日）24時）に解除しました。

今後、秋田県は、国内22例目の移動制限区域内で、当該疾病の新たな発生が認められなければ、令和4年5月12日（木曜日）午前0時(5月11日（水曜日）24時)をもって、当該移動制限を解除する見込みです。

1.今後の予定

（1）秋田県は、同県大仙市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内22例目）に関し、令和4年5月1日（日曜日）午前0時（4月30日（土曜日）24時）、発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（2）今後、秋田県は、国内22例目の移動制限区域内で、当該疾病の新たな発生が認められなければ、発生農場の防疫措置が完了した令和4年4月20日の翌日から起算して21日が経過する、令和4年5月12日（木曜日）午前0時(5月11日（水曜日）24時)をもって、当該移動制限を解除する見込みです。

**■北海道で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内23例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2022/4/28**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220428.html>

　　北海道釧路市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内23例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）北海道釧路市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内23例目、4月26日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**

<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■***NEW***栄養成分表示を活用するための普及啓発動画　2022/5/12**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/nutrient_declearation/consumers/movie/>

**■魚介類の名称のガイドライン一部改正案等に関する意見募集について　2022/4/27**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/028551/>

**詳細**

**1. 意見募集の対象**

**魚介類の名称のガイドライン一部改正案**

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=235080065&Mode=0>

**2 意見募集の趣旨**

**「食品表示基準Q&A」(平成27年3月30日付け消食表第140号)の別添「魚介類の名称のガイドライン」については、新たな魚介類の輸入・流通の拡大、分類学的研究の進展による名称の変更など、魚介類の名称を巡る状況が変化していることを受け、令和3年度に、魚介類のうち甲殻類について改正に向けた検討を行いました。**

**この検討結果を踏まえ、消費者庁では、所要の改正を行うため、「魚介類の名称のガイドライン一部改正案」を作成いたしました(本案の詳細は別添資料を御参照ください。)。**

**つきましては、下記の要領にて広く国民の皆様の御意見を募集いたします。お寄せいただいた御意見につきましては、内容を検討の上、本案作成の参考とさせていただきます。**

**3 意見募集期間　令和4年4月27日(水)から同年5月26日(木)まで(郵送の場合は同日必着)**

**4 意見の提出方法**

**以下の事項を記載し、次に掲げるいずれかの方法により提出してください。なお、電話での受付はできませんので御了承ください。**

**【1】氏名(法人その他の団体にあっては名称/部署名等)**

**【2】職業(法人その他の団体にあっては業種)[任意]**

**【3】住所**

**【4】電話番号**

**【5】電子メールアドレス(お持ちの場合)**

**【6】御意見及びその理由(表題及び御意見を御記入ください。)**

**\* 御意見が600字を超える場合、その内容の要旨を添付してくださいますようお願いいたします。**

**\* FAX又は郵送で御提出の場合、別途様式を用意しておりますが、【1】～【6】の項目が記載されていれば、他の様式を用いての御提出も可能です。**

**(1)電子メールの場合**

**E-mail:i.shokuhin6@caa.go.jp宛て**

**\* 電子メール件名を「魚介類の名称のガイドライン一部改正案について」としてください。**

**(2)FAXの場合**

**FAX番号:03-3507-9292 消費者庁食品表示企画課 意見募集担当宛て**

**\* 表題を「魚介類の名称のガイドライン一部改正案について」としてください。**

**(3)郵送の場合**

**〒100-8958**

**東京都千代田区霞が関3-1-1 中央合同庁舎第4号館6階**

**消費者庁食品表示企画課 意見募集担当宛て**

**\* 封筒表面に「魚介類の名称のガイドライン一部改正案について」と朱書きしてください。**

**5 注意事項**

**○ お寄せいただいた御意見に対する個別の回答は致しかねますので、その旨御了承願います。**

**○ 御意見については、提出者の氏名や住所等、個人を特定できる情報を除き、そのまま公表させていただく場合もありますので、その旨御了承願います。**

**○ 御記入いただいた氏名、住所、電話番号及び電子メールアドレスは、御提出いただいた御意見の内容に不明な点があった場合等の連絡のために利用します。**

**○ 電子メールでの御意見は、テキスト形式の電子メールによる御意見だけを受理します。セキュリティ上、添付ファイルやURLへのリンクにより提出された御意見は受理しかねますので、その旨御了承願います。**

**公表資料**

**魚介類の名称のガイドライン一部改正案等に関する意見募集について**

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/food_labeling_cms202_20220427_04.pdf>

問合せ先

消費者庁食品表示企画課

内村、横内

電話番号 03-3507-9223(直通)

FAX番号 03-3507-9292

**■インターネット販売における食品表示の情報提供に関するガイドブック案等に関する意見募集について　2022/4/27**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/028502/>

　　消費者庁では、「インターネット販売における食品表示の情報提供に関するガイドブックガイドブック案」及び「インターネット販売における食品表示の情報提供に関するガイドブック(別冊)食品表示情報の入手方法と管理方法案」を作成いたしました(本案の詳細は別添資料を御参照ください。)。つきましては、下記のとおり、広く国民の皆様の御意見を募集いたします。お寄せいただいた御意見につきましては、内容を検討の上、本案作成の参考とさせていただきます。

詳細

1 意見募集の対象

インターネット販売における食品表示の情報提供に関するガイドブック(案)

インターネット販売における食品表示の情報提供に関するガイドブック(別冊)食品表示情報の入手方法と管理方法(案)

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=235080064&Mode=0>

2 ガイドブック案の概要

消費者庁では、令和3年度に「インターネット販売における食品表示の実態調査及び検討事業」を実施し、消費者の意向及び事業者の取組の実態を把握するとともに、食品表示、ECサイトの実態、消費者の購買行動について知見を有する学識経験者、ECサイトプラットフォーマー、食品関連事業者、消費者、業界関係者等の委員で構成される検討会において事業者向けのインターネット販売における食品表示を行うための手引の策定に向けた議論を行ってまいりました。調査事業の結果を踏まえ、インターネット上でどのような食品表示情報をどのような方法で、どの程度提供すればよいか、その考え方や効用を説明したガイドブック案並びにECサイト上で食品表示の情報提供を行うための情報入手方法及び管理方法の具体的な取組事例について提示した別冊案を作成いたしました。

3 意見募集期間

令和4年4月27日(水)から同年5月26日(木)まで(郵送の場合は同日必着)

4 意見の提出方法

以下の事項を記載し、次に掲げるいずれかの方法により提出してください。なお、電話での受付はできませんので御了承ください。

【1】氏名(法人その他の団体にあっては名称/部署名等)

【2】職業(法人その他の団体にあっては業種)[任意]

【3】住所

【4】電話番号

【5】電子メールアドレス(お持ちの場合)

【6】御意見及びその理由(表題及び御意見を御記入ください。)

\* 御意見が600字を超える場合、その内容の要旨を添付してくださいますようお願いいたします。

\* FAX又は郵送で御提出の場合、別途様式を用意しておりますが、【1】～【6】の項目が記載されていれば、他の様式を用いての御提出も可能です。

(1)電子メールの場合　E-mail:i.shokuhin6@caa.go.jp　宛て

\* 電子メール件名を「インターネット販売における食品表示の情報提供に関するガイドブック案等について」としてください。

(2)FAXの場合　FAX番号:03-3507-9292 消費者庁食品表示企画課 意見募集担当宛て

\* 表題を「インターネット販売における食品表示の情報提供に関するガイドブック案等について」としてください。

(3)郵送の場合

〒100-8958

東京都千代田区霞が関3-1-1 中央合同庁舎第4号館6階

消費者庁食品表示企画課 意見募集担当宛て

\* 封筒表面に「インターネット販売における食品表示の情報提供に関するガイドブック案等」と朱書きしてください。

5 注意事項

○ お寄せいただいた御意見に対する個別の回答は致しかねますので、その旨御了承願います。

○ 御意見については、提出者の氏名や住所等、個人を特定できる情報を除き、そのまま公表させていただく場合もありますので、その旨御了承願います。

○ 御記入いただいた氏名、住所、電話番号及び電子メールアドレスは、御提出いただいた御意見の内容に不明な点があった場合等の連絡のために利用します。

○ 電子メールでの御意見は、テキスト形式の電子メールによる御意見だけを受理します。セキュリティ上、添付ファイルやURLへのリンクにより提出された御意見は受理しかねますので、その旨御了承願います。

公表資料

インターネット販売における食品表示の情報提供に関するガイドブック案等に関する意見募集について

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/food_labeling_cms202_220427_01.pdf>

問合せ先

消費者庁食品表示企画課

内村、松原

電話番号 03-3507-9223

FAX番号 03-3507-9292

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★ユウキ食品「四川マーボーソース辛口（花椒粉付）」 - 返金／回収　食品衛生法上で定める一律基準（0.01ppm）を超える農薬（カルボフラン）が検出されたため　2022/5/12**

**★ネスレ日本「ネスカフェ ドルチェ グスト（アイスコーヒーブレンド、オリジナルブレンド）」 - 返金／回収　賞味期限の表示欠落（本来の賞味期限：2022年9月、10月）　2022/5/12**

**★イオンリテール（京都西店）「釜上げしらす(間違ってちりめんのラベルが貼付された商品) 」 - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：賞味期限22.5.15、正：消費期限22.5.8）　2022/5/11**

**★イオンフードサプライ「五目春巻」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（本来は保存温度変更後7日の賞味期限）　2022/5/11**

**★山崎製パン（北海道）「ランチパック（ペッパーポテトサラダ）ベーコン入り」 - 返金／回収　アレルゲン「とり肉」の表示欠落　2022/5/11**

**★PRESENTs「をかし楽市 粋あられ 山椒（さんしょ）」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦」の表示欠落、賞味期限の誤表示（誤：22.7.20、正：22.7.2）　2022/5/11**

**★国技館サービス「国技館やきとり」 - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：22.5.11 午前2時、正：22.5.10 午前2時）　2022/5/10**

**★エヌエスフーズ「対馬 猪 ソーセージ 太タイプ」 - 返金／回収　異物混入のおそれ　2022/5/10**

**★シーエフシージャパン「カシェ ダークチョコレート アーモンドアンドシーソルト」 - 返金／回収　原材料のアーモンドから基準値を超えるアフラトキシンが検出され、当該品を原材料に使用している商品にもアフラトキシンが発生している可能性があるため　2022/5/10**

**★エムアイフードスタイル「やさしい全粒粉ロール 4個入り」 - 返金／回収　アレルゲン「卵」の表示欠落　2022/5/9**

**★テンホウ・フーズ「おつまみチャーシュー」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：7月8日、正：4月30日）　2022/5/9**

**★オレンジフーズ「旬のちゅうちゅうゼリー」 - 返金／回収　商品の膨張、腐敗菌の繁殖のおそれ　2022/5/9**

**★津具屋製菓「抹茶クリームどら焼き、ほか4商品」 - 返金／回収　金属のねじ混入の可能性あり　2022/5/9**

**★杉本食肉産業「スギモト 焼くだけかんたん ハンバーグ オリジナル 125g」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦」の表示欠落　2022/5/6**

**★フューチャーアクセスアンドパートナーズ「キンダーミックスショコラーデピクニック、キンダーサプライスマキシ―ローザガール」 - 返金／回収　サルモネラ菌が検出されたため　2022/5/6**

**★神戸物産「冷凍 しいたけ（菌床）」 - 回収命令　人の健康を損なうおそれのない量として定める量（0.01ppm）を超える農薬（プロシミドン）を検出したため（0.02ppm)　2022/5/6**

**★ハマハル「レトルトしじみ」 - 回収　賞味期限の誤表示（誤：20220.10.1、正：2022.10.1）　2022/5/2**

**★グラッツェミーレ「まっことうまい 焼き玉葱ドレッシングちゃ」 - 返金／回収　商品の1本が店頭にて暴発、他9本の膨張が見られたため（乳酸菌が検出）　2022/5/2**

**★沖縄物産企業連合「沖縄アロエ シークヮーサー味」 - 返金／回収　賞味期限内の安全性が保てないと判断した商品が見つかったため　2022/5/2**

**★清水食品「セブンプレミアム 冷たいごぼうスープ」 - 返金／回収　品質劣化の可能性があることが判明したため　2022/5/2**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8068a715873c6ec58e1b8a24b767bfef42745261>

**■***NEW***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★細菌性食中毒★**

**■食中毒の発生（令和4年5月10日）　岐阜県可児市**

**調査中**

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/pressrelease/222741.html>

　1　探知

　　令和4年5月9日（月曜日）8時45分頃、可児市内の住民から「5月8日（日曜日）に各務原市内の飲食店を利用した複数人が嘔吐、下痢等の症状を呈している。」旨、可茂保健所に連絡があった。

2　概要

　　岐阜保健所が調査したところ、5月8日（日曜日）昼に飲食店「創作料理＆雑貨　木曾川はなれ」で食事をした2グループ6人中5人が、同日中に嘔吐、下痢等の食中毒症状を呈し、3人が医療機関を受診していたことが判明した。

　岐阜保健所では、患者らに共通する食事は当該施設が調理した食品に限られること、患者を診察した医師から食中毒の届け出があったことから、当該施設を原因とする食中毒と断定した。

　なお、患者の中には入院した者はおらず、いずれも快方に向かっている。

3　発生状況

テーブル

自動的に生成された説明

　4　主なメニュー

　ニンジンの酢の物、サラダ、揚げ物（ライスボール、かぼちゃ、長芋）、春キャベツのクリームスープ、鯛のフリット、豚ヒレ肉のロースト、あさりのトマトパスタ、デザート等

5　原因食品　調査中

6　病因物質　調査中

7　原因施設

　屋　号：創作料理＆雑貨　木曾川はなれ

　業　種：飲食店営業（レストラン）

8　検査　原因究明のため、引続き患者ら及び従業員の検便等の検査を実施中。

9　措置

　　　食品衛生法に基づき、当該施設を5月10日（火曜日）から営業禁止処分とした。（再発防止措置が講じられた後に解除する。）

10　発表資料　記者発表資料 [PDFファイル／161KB]

<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/300018.pdf>

テーブル

自動的に生成された説明

**■ラーメンやつけ麺食べた4人に症状　船橋のラーメン店で食中毒　サルモネラ菌検出**

**5/7(土) 11:52配信　千葉日報　千葉県船橋市**

**サルモネラ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/0a2efa66df4c45390361442cf1a99fcd74052ba5>

**食中毒の発生について（令和4年5月6日）　千葉県船橋市**

**サルモネラ菌**

<https://www.city.funabashi.lg.jp/kenkou/eisei/001/p061972.html>

　探知

　　令和4年4月27日(水曜日)、市内飲食店の利用者から「4月23日(土曜日)13時00分頃に、勤務先の同僚4人で市内飲食店を利用したところ、全員が翌日朝から夕方にかけて腹痛、下痢、発熱等の症状を呈した。」旨の届出があり、船橋市保健所衛生指導課が調査を開始した。

概要

　　これまでの調査の結果、令和４年４月２３日（土曜日）に、飲食店「山田屋敷」を利用しラーメン、つけ麺等を喫食した1グループ4人が、4月24日(日曜日)から下痢、発熱等の食中毒症状を示し、全員が医療機関を受診していた。

　　発症者の共通喫食物が当該飲食店での食事に限られること、発症者、及び従事者の便からサルモネラ属菌が検出されたこと、発症者の症状がサルモネラ属菌による症状と一致すること、及び診察した医師から食中毒患者等届出票が提出されたことから、本日、船橋市保健所長は当該飲食店を原因施設とする食中毒と断定し、当該飲食店の営業停止処分を行った。なお、入院した患者はいない。

1　喫食者数　4人

2　発症者数　4人（40代男性1人、50代男性3人）

3　主な症状　激しい下痢、腹痛、発熱(38～40℃)等

4　発症年月日　令和4年4月24日(日曜日)

5　原因施設

　屋　号：やまだ邸　業　種：飲食店営業

6　原因食品　ラーメン等

7　検 査

　利用者便　4検体のうち2検体からサルモネラ属菌O4陽性(うち1検体から病原性大腸菌O161陽性)

　従事者便　2検体のうち2検体からサルモネラ属菌O4陽性(うち1検体からウェルシュ菌陽性)

　拭き取り　5検体すべて陰性

8　病因物質　サルモネラ属菌

9　行政措置　営業停止3日間

令和4年5月6日(金曜日)から令和4年5月8日(日曜日)まで

船橋市における食中毒発生状況

・令和4年度　発生件数 0件、患者 0人（＊本件を含まず）

・令和3年度　発生件数 1件、患者 3人

・令和2年度　発生件数 5件、患者 5人

**■長野保健所管内でカンピロバクターによる食中毒が発生しました　長野県（健康福祉部）プレスリリース令和4年（2022年）5月12日　長野県須坂市**

**カンピロバクター**

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shokusei/happyou/ch220512.html>

　　本日、長野保健所は須坂市内の飲食店を食中毒の原因施設と断定し、当該施設の営業者に対し令和4年5月12日から令和4年5月14日まで、3日間の営業停止を命じました。

患者は、4月30日に当該施設で食事をした5グループ7名中の1グループ3名で、長野市保健所が行った検査により患者からカンピロバクターが検出されました。なお、患者は全員快方に向かっています。

　【事件の探知】

令和4年5月6日の午後4時30分頃、「4月30日の午後8時頃に当該施設を利用した3名のうち3名が、胃腸炎症状を呈している」と患者グループの関係者から連絡がありました。

【長野保健所による調査結果概要】

患者は、4月30日に当該施設で食事をした5グループ7名中の1グループ3名で、5月2日午後7時頃から下痢、腹痛、発熱などの症状を呈していました。

患者に共通する食事は、当該施設が調理・提供した食品だけでした。

長野市保健所が行った検査により患者便からカンピロバクターが検出されました。

患者の症状は、カンピロバクターによる食中毒の症状と一致していました。

患者を診察した医師から食中毒の届出がありました。

以上のことから、長野保健所は当該施設で調理し、提供された食事を原因とする食中毒と断定しました。

関連資料

220512プレスリリース資料（PDF：285KB）

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shokusei/happyou/documents/ch220512.pdf>

長野県（健康福祉部）プレスリリース 令和４年（2022 年）５月 12 日

本日、長野保健所は須坂市内の飲食店「やきとり けんぼう」を食中毒の原因施設と断定し、当該施設の営業者に対し令和４年５月 12 日から令和４年５月 14 日まで、３日間の営業停止を命じました。

患者は、４月 30 日に当該施設で食事をした５グループ７名中の１グループ３名で、長野市保健所が行った検査により、患者便からカンピロバクターが検出されました。

なお、患者は全員快方に向かっています。

【事件の探知】

令和４年５月６日の午後４時 30 分頃、患者グループの関係者から「４月 30 日の午後８時頃に当該設を利用した３名のうち３名が、胃腸炎症状を呈している。」旨の連絡がありました。

【長野保健所による調査結果概要】

○ 患者は４月 30 日に当該施設で食事をした５グループ７名中の１グループ３名で、５月２日午後７時頃から下痢、腹痛、発熱等の症状を呈していました。

○ 患者に共通する食事は、当該施設が調理・提供した食品だけでした。

○ 長野市保健所が行った検査により、患者便からカンピロバクターが検出されました。

○ 患者の症状は、カンピロバクターによる食中毒の症状と一致していました。

○ 患者を診察した医師から食中毒の届出がありました。

○ 以上のことから、長野保健所は当該施設で調理し、提供された食事を原因とする食中毒と断定しました。

担当保健所 長野保健所

患者関係

発 症 日 時 ５月２日 午後７時頃から

患 者 症 状 下痢、腹痛、発熱等

患 者 所 在 地 長野市

患 者 数及び喫食者数

患者数／喫食者数：３名／７名

（患者内訳）男性：３名（年齢：20 歳代～40 歳代）

入 院 患 者 数 ２名（退院済み）

医療機関受診者数 ３名（受診医療機関数：３か所）

原因食品 ４月 30 日に当該施設で提供された食事

病因物質 カンピロバクター・ジェジュニ

原因施設　施 設 名 やきとり けんぼう　営業許可業種 飲食店営業（一般食堂）（そうざい屋）

措 置　食品衛生法に基づく営業の停止

　令和４年５月 12 日から令和４年５月 14 日まで３日間

検査結果 カンピロバクター・ジェジュニ 患者便：２検体中２検体から検出［参 考］

患者が喫食した主なメニュー

鶏レバー、焼き鳥（ねぎま、鶏もも肉、かしら等）、焼き鳥丼、冷ややっこ、おにぎり、フライドポテト、厚あげ等

［参 考］長野県内（長野市・松本市含む）における食中毒発生状況（本件含む）

テーブル

自動的に生成された説明

**■食品衛生法違反者を公表します　2022/5/11　目黒区**

**カンピロバクター**

<https://www.city.meguro.tokyo.jp/oshirase/shokuhineiseiihan2200511.html>

　公表年月日　令和4年5月11日

施設の名称　黒澤惣三商店　学芸大学店

営業の種別　飲食店営業

適用条項

　食品衛生法第6条第3号違反により、改正前の食品衛生法第55条第1項及び第56条を適用（食品衛生法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令附則第2条の規定により、なお従前の例により当該営業を行うことができるとされた場合における、食品衛生法等の一部を改正する法律第2条の規定による）

不利益処分等を行った理由 食中毒の発生

不利益処分等の内容

　営業停止命令　令和4年5月11日から令和4年5月17日までの7日間

施設改善命令

備考

患者数　　 3人

主な症状　腹痛、下痢等

病因物質　カンピロバクター・ジェジュニ

原因食品　令和4年4月20日に調理提供した料理（加熱不十分な鶏肉を含む）

**■飲食店営業施設等に対する不利益処分等　食中毒　2022/5/6　世田谷区**

**カンピロバクター**

<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/fukushi/003/005/d00144614.html>

<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/fukushi/003/005/d00144614_d/fil/furiekishobun.pdf>

　公表年月日　令和4年5月6日

業種等　飲食店営業

主な適用条項　食品衛生法（昭和22年法律第233号）第6条第3号の規定による基準違反により同法第55条を適用

不利益処分等を行った理由　食中毒

不利益処分等の内容　令和4年5月6日から令和4年5月9日まで営業停止

病因物質　カンピロバクター・ジェジュニ

備考　食品衛生法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令（令和元年政令第123号）附則第2条の規定により、なお従前の例により当該営業を行うことができるとされた場合に該当するため、食品衛生法等の一部を改正する法律（平成30年法律第46号）第2条の規定による改正前の食品衛生法を適用する。

テーブル

自動的に生成された説明

**■食中毒の発生について　2022/5/1****栃木県足利市**

**カンピロバクター**

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e07/houdou/syokutyuudoku20220501.html>

　　令和4（2022）年4月26日（火曜日）午前9時頃、足利市在住の男性から安足健康福祉センターに「足利市内の飲食店で、職場のグループで昼食を食べたところ、ほとんどが腹痛、発熱等を呈した。」旨の連絡があったため、同センターが食中毒調査を開始した。

調査の結果、4月21日（木曜日）正午頃、足利市内の飲食店で食事をした1グループ7名のうち、6名が下痢、発熱、腹痛等の症状を呈していることが判明した。

これらの発症者に共通する食事は、4月21日に当該飲食店で調理、提供された食事に限られており、発症者の症状や発症日時に共通性があること、発症者3名の便からカンピロバクターが検出され、症状がカンピロバクターによるものと一致していることから、本日、同センターは当該飲食店が提供した食事を原因とするカンピロバクターによる食中毒と断定した。

なお、発症者において医療機関を受診した者も見られたが、全員快方に向かっている。

**令和4(2022)年栃木県内の食中毒事例　2022/4/26　栃木県足利市**

**カンピロバクター**

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e07/life/shokuseikatsu/chuudoku/r4syokucyudoku.html>

　原因食品　4月21日に飲食店が提供した食事

　原因施設　飲食店

　喫食者数　7

　患者数　6

**★ウイルスによる食中毒★**

**■施設に対する行政処分等の情報　2022/5/10　大阪府太子町**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.osaka.lg.jp/shokuhin/ihan/sisetsuihan.html>

　公表年月日：令和4年5月10日

業種：飲食店営業

施設名称：やすらぎ

違反の理由：食品衛生法第6条第3号違反

違反の内容：食中毒の発生

措置状況：営業停止2日間

病因物質：ノロウイルス

原因食品：5月3日に調製された仕出し弁当

患者数：6名

**■浜松のホテル内　飲食店で食中毒　静岡県浜松市**

**2022.5.7　あなたの静岡新聞**

**ノロウイルス**

<https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/1063036.html>

**静 岡 県 内 の 食 中 毒 発 生 状 況 （ 令 和 ４ 年 次 ）　2022/5/2　静岡県浜松市**

**ノロウイルスGⅡ**

<http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-510/kannsi/documents/hp0506.pdf>

発生年月日　2022/5/2

患者数　8

原因施設業種　飲食店営業

病因物質　ノロウイルスGⅡ

原因食品　提供料理

**食中毒等の公表（第1号）　2022/5/6　静岡県浜松市**

**ノロウイルスGⅡ**

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/seiei/food/safy/syoku_syokutyudoku/r4tyudoku_1.html>

公表年月日　令和4年5月6日

営業所の名称　ホテルコンコルド浜松　堂満

営業の種類　飲食店営業

適用条項　食品衛生法第60条

行政処分を行った理由　食品衛生法第6条違反（食中毒）

行政処分の内容

令和4年5月6日（金曜日）から衛生状態の改善が確認されるまでの間営業禁止

備考　報道発表実施

**★寄生虫による食中毒★**

**■寄生虫「アニサキス」食中毒　スーパーで買ったイワシの刺身を食べたら…胃痛・嘔吐**

**5/12(木) 18:36配信　鳥取県倉吉市　BSS山陰放送**

**アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/00908f79e4c9a3935b5830980b834d478896fc58>

**■スーパーで買った刺身が原因と断定　アニサキスによる食中毒　鳥取県米子市**

**5/10(火) 21:51配信　BSS山陰放送**

**アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/9a6976ca36e87d0fa3ecfb209d996066d351a527>

**■食品衛生法違反者等の公表　2022/5/6　中央区**

**アニサキス**

<https://www.city.chuo.lg.jp/kenko/hokenzyo/syokuhineisei/kohyo.html>

　公表年月日　令和4年5月6日

業種等　飲食店営業

施設の名称　新富鮨

主な適用条項　食品衛生法第6条及び第60条

不利益処分等を行った理由 食中毒（令和4年4月20日に上記店舗で調理提供された「にぎりずし」）

不利益処分等の内容　5月6日（1日間）の営業停止

備考　病因物質アニサキス

**★自然毒による食中毒★**

**■スイセンで食中毒　岩見沢の女性３人　北海道岩見沢市**

**05/10 08:30 更新　北海道新聞**

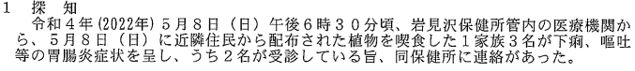
**植物性自然毒　スイセン**

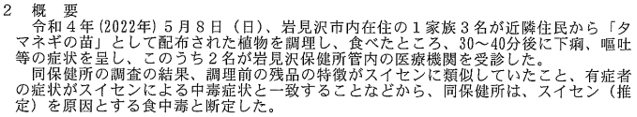
<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/678644/>

**岩見沢保健所管内における食中毒の発生について［食品衛生課］ 2022/5/9　北海道岩見沢市**

**植物性自然毒　スイセン**

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/5/9/6/8/7/3/5/_/040509-02syokutyudoku.pdf>





テキスト

自動的に生成された説明

背景パターン

低い精度で自動的に生成された説明

テキスト

自動的に生成された説明

**★違反食品★**

**■違反食品等に係る行政処分　2022/5/2　兵庫県加古川市**

**冷凍 しいたけ（菌床）プロシミドンが0.02ppm検出**

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf14/hw14_000000020.html>

　処分年月日　2022/5/2

　輸入者名称（営業者氏名）等　株式会社神戸物産

　主な適用条項　法第13条第3項

　行政処分を行った理由

　　人の健康を損なうおそれのない量として厚生労働大臣が定める量（0.01ppm）を超過して、プロシミドンが0.02ppm検出された

　行政処分の内容

　　回収命令

　対象商品

　　名称：冷凍 しいたけ（菌床）

商品名：しいたけ（大）

内容量：500g

包装形態：合成樹脂製袋

原産国名：中国

賞味期限：20240119

JANコード：4942355128564

**★その他関連ニュース★**

**■違法なけしの発見について　更新日：2022年5月6日　沖縄県名護市**

<https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/seikatsueisei/yakumu/ihounakesihakkenn.html>

**違法なけしの発見について**

　　けしの仲間（ケシ属植物）は、春から夏にかけて色鮮やかで美しい大きな花を咲かせるものが多く、ガーデニングや切り花用の植物として人気があります。

　しかし、けしの仲間には、法律で栽培が禁止されているものがあります。

沖縄県保健医療部衛生薬務課薬務室は、平成３１年４月１７日の名護市在住の県民から「栽培しているポピーが違法なけしの可能性がある」との通報に基づき、九州厚生局麻薬取締部沖縄麻薬取締支所と合同で調査を実施したところ、通報のあったけしが、違法なけし（ソムニフェルム種）であることを確認しました。

　違法なけしの流通ルートを調査したところ、種や苗が園芸用のポピーとして名護市及び今帰仁村内の植木市や園芸店、園芸愛好家を通じ、沖縄本島北部地域以外の中南部地域でも販売又は譲渡されていることが判明したことから、調査過程で発見した違法なけし１，０４９本を廃棄処分し、販売者及び栽培者に対し指導及び注意喚起を行いました。

　違法なけしを栽培又は発見した場合は、速やかに衛生薬務課薬務室、保健所又は警察署、沖縄麻薬取締支所への通報をお願いします。

**違法なけしの特徴**

今回発見されたのは、桃色の八重咲きの花ですが、色は赤、紫、白などもあり、一重咲きもあります。

葉は互い違いに茎につき、上部の葉は柄がなく、その基部は茎を抱き込むような形をしています。

【名護市内で栽培されていた違法なけし（ソムニフェルム種）】



違法なけし（ソムニフェルム種）を栽培または発見した方へ

上記のけしは、栽培、譲渡、譲受、所持が法律で禁止されています。

上記のけしを栽培または発見された方は、速やかに衛生薬務課薬務室、保健所または警察署、沖縄麻薬取締支所へ通報してください。

【通報窓口】

沖縄県衛生薬務課　098 - 866 - 2055

沖縄県北部保健所　0980 - 52 - 2636

沖縄県中部保健所　098 - 938 - 9787

沖縄県南部保健所　098 - 889 - 6799

沖縄県宮古保健所　0980 - 72 - 3501

沖縄県八重山保健所　0980 - 82 - 3243

那覇市保健所　098 - 853 - 7963

沖縄県警察本部　098 - 862 - 0110

沖縄麻薬取締支所　098 - 854 – 2584

[大麻・けしの見分け方（厚生労働省ホームページ）（外部サイトへリンク）](http://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/dl/taima.pdf)

**■【感染症情報】感染性胃腸炎が4週連続増加 - 手足口病も3週連続増、RSウイルスは横ばい**

**5/10(火) 11:45配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/bd0639ebb38a61eb732fa7b84f623b82368b4c80>



**5月8日は母の日**